

令和 3年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: みどり自然課
 担当名: 自然ふれあい担当
 内線: 3155

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B27	自然公園満喫プロジェクト事業費		一般会計	総務費	環境費	自然保護対策費	自然公園等施設整備費	
事業期間	昭和25年度～	根拠法令	自然公園法、県立自然公園条例			宣言項目		SDGsゴール
					分野施策	051247 生物多様性の保全		SDGsターゲット
1 事業の概要			5 事業説明					
自然公園内の老朽化した施設の改修等を行い、利用者の安全・利便を図る。 また、自然公園での取り組みがSDGsに貢献していることをPRするための施設整備を行う。			(1) 事業内容 ア みんなの美の山魅力アッププロジェクト事業 6,563千円 → 6,563千円 利用者の増加を図るために企業や地域住民等と連携した公園の魅力アップに繋がる事業を実施する。 イ 自然公園施設等修繕事業費 7,279千円 → 6,273千円 既存施設の機能維持を中心として修繕を行う。 ウ 自然公園施設等更新事業費 35,272千円 → 35,258千円 老朽化した施設のリニューアル工事を行う。 エ 自然公園標識等更新事業費 505千円 → 434千円 老朽化した看板の緊急点検と撤去・再設置を行う。 オ 山岳遭難事故対策事業費 8,454千円 → 8,454千円 事故が多発している登山道等において、安全対策事業を実施する。					
(2) 自然公園施設等修繕事業費 Δ1,006千円 (3) 自然公園施設等更新事業費 Δ14千円 (4) 自然公園標識等更新事業費 Δ71千円			(2) 事業計画 市町や住民等と連携し、PRやイベントなどを活用した秩父地域の振興や活性化のための事業を進める。 県が管理している自然公園施設については、順次計画的に整備を行う。 事業の目標: 県民にSDGsが浸透することにより自然公園内での違法開発件数 ゼロ 施設管理瑕疵が原因の自然公園内での重大事故 ゼロ					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)			(3) 事業効果 自然公園を安全で快適に利用できることにより、多くの方の自然とふれあう機会が増大する。 ア 美の山公園の利用者数: 令和元年 58千人 イ 自然公園利用者数: 平成29年 20,565千人 → 平成30年 20,711千人					
3 地方財政措置の状況 なし			(4) 補正予算の概要 経費節減に伴う減額 Δ1,091千円					
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.7人=6,650千円								
予算額			財 源 内 訳				一般財源	補正後の 予算額
			繰入金	県債				
決定額	Δ1,091						Δ1,091	56,982
現計額	58,073	6,563	43,000				8,510	